

令和8年度 学校経営計画書

石川県立宝達高等学校

校長 丸一 剛

1 教育目標

生徒一人一人の個性を伸張し、明るく活力のある学校を目指す。

- ① 自主自律の精神を培い、社会で活躍できる人材を育成する。
- ② 創造性を培い、広い視野をもつ人材を育成する。
- ③ 心の豊かさを涵養し、心身ともに健全な人材を育成する。

2 中・長期的目標

ふるさとに誇りを持って地域の発展に貢献できる人材を育成する。

(1) 学校の現状

- ① 学習意欲を喚起し、主体的に学習に取り組む態度を育成するため、分かる授業づくりや個に応じたきめ細かな学習指導に取り組んでいる。
- ② 望ましい職業観・勤労観を身に付け、主体的に進路実現に努める生徒を育成するため、キャリア教育の充実に取り組んでいる。
- ③ 心身ともに健全な生徒を育成するため、基本的生活習慣の確立、規範意識の醸成、ボランティア活動の推進、教育相談の充実に取り組んでいる。
- ④ 生徒の健康保持や安全確保について危機管理体制を適宜見直ししながら、更なる充実を図る必要がある。
- ⑤ 地域社会の活性化事業に参画できる人材を育成するため、地域と学校が連携・協働した取組みの充実を図っている。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 自ら学ぶ意欲と社会を生き抜く資質・能力を持った生徒を育成する。
- ② 望ましい勤労観・職業観を涵養し、主体的に自己の進路実現に取り組む生徒を育成する。
- ③ 社会のルールやモラルを重んじながら、自律的で人を思いやる心豊かな生徒を育成する。
- ④ 地域への愛着や誇りを持ち、広い視野に立って社会に貢献する人材を育成する。

(3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ① ICT機器の積極的な活用と各種研修講座への参加を推進し、指導力や人間力の向上を図る。
- ② 学力の三要素をバランスよく育むため、意図的・計画的な指導を行い、生徒一人一人の学力を高め、学力の質の確保に努める。
- ③ 学校のさまざまな課題に対応するため、チームとして機能する体制づくりを確立し、組織的・機動的な学校経営に努める。
- ④ 学校の現状や生徒の実態を踏まえた危機管理体制が確立された学校づくりを推進する。
- ⑤ 効率的な業務の遂行に努め、生徒と向き合う時間の確保とワークライフバランスを考えた働き方に努める。

3 今年度の重点目標

- (1) 主体的・継続的に学習に取り組む態度を育み、学力の向上を図る。
- (2) キャリア教育の充実及び個に応じた進路指導の充実により、進路実現を図る。
- (3) 自主自律の精神や自他を尊重する心を持った、心身ともに健康な生徒を育成する。
- (4) 地域との連携・協働の取組を充実させ、地域に信頼される学校づくりを推進する。
- (5) 危機管理意識を高め、緊急時にも適切に対処できる学校組織の構築に努める。
- (6) 時間管理を意識しながら、組織的で効率的な働き方に努める。